

寄島の魅力を発信しよう！

令和2年度寄島小学校5年生 総合的な学習の時間

(海ごみ) グループ

私たち5年生は、寄島をきれいにするために、ごみ拾いをしています。きっかけは、海に遊びに行ったとき、ごみがたくさん落ちていて、悲しくなったからです。これは、青佐鼻海岸でごみを拾った時の写真です。カンや、ビニールぶくろ、ペットボトルなどがたくさん落ちてました



青佐鼻海岸で、30人で15分間ごみ拾いをしたらこれだけのごみが集まりました。

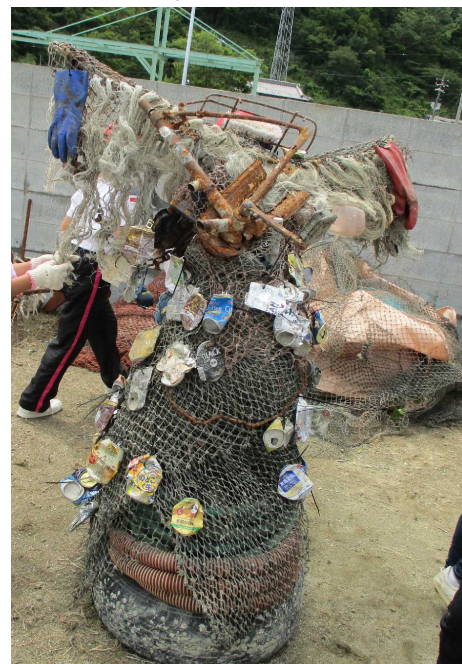


寄島小学校では、ごみを無くすために、**クリーン**作戦を全校で頑張っています。クリーン作戦では、登校班ごとに、通学路や家の近くのごみを拾いながら下校します。今年度は残念ながら、雨のために中止になりました。



下の写真を見てください。これは、わたしたちが4年生の時に、海で「ごみアート」をしたときの写真です。

海のごみを引き上げたとき、カンや、ペットボトル、あみ、くつ、電気製品までありました。わたしたちは、これらの海底ごみを組み合わせてアート作品を作りました。



道路の近くに落ちたごみは、やがて海に流れ出ます。海や道路のごみを無くすために、みなさん、ポイ捨てをしないでください。わたしたちは、きれいな寄島やきれいな海を守っていきます。



ぼくは、海の**ゴミ**について調べました。寄島漁港では、底引き網漁が盛んです。

底引き網漁・・・重い網を海底に沈めて、網に入った魚をとる漁のことです。

でも、底引き網漁では、**ゴミが入る**ということが困っています。例えばドラム缶、自転車、テレビなど・・・。そのゴミが集まるところが**底引き網回収ゴミ専用ゴミステーション**です。そこには、信じられない物もありました。それは、**大型トラックのタイヤ**です。これらのごみのせいで魚が傷ついたり、つぶれたりするそうです。



以前は、「ゴミを拾って帰ったのに、こっちがお金払わないといけない」と寄島町漁業協同組合の方が言われていました。「ゴミの処理ができないので、拾って帰れないこともあった」とも言われていました。

こういった課題を解決するために、平成15年に行政が、**ゴミを処分するシステム**を作りました。



ぼくたちも、少しでも海ごみをへらすために、ごみ拾いをしました。缶は捨てる前に洗ってまます。誰が捨てたのでしょうか。寄島の海を守っていきたいです。寄島にもどこにも、ごみを捨てないでください。

【参考】「海と日本プロジェクト」のY o u T u b e